

平成26年度 建設部  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
都市としての持続的な成長を支え、市民が安全で安心して生活を営むことのできるまちづくりを目指す。そのためには、市民のニーズ、社会の動向を的確につかみ、建設部門の果たすべき役割を適切に執行管理する。	1.災害関連対策	・災害を未然に防止するとともに、有事の際の被害拡大を防ぐための施策の充実を図る。	・橋梁長寿命化修繕事業 ・木造住宅耐震化促進事業 ・排水困難地対策の実施	<p>・今年度予定していた橋梁修繕設計業務委託については全て完了した。修繕工事については、年度内に発注を完了しているが、平成27年度に繰り越した。</p> <p>・広報活動や商工会との協働、市民フォーラムや産業祭でのPR活動等により事業を推進した。(診断27件、本格改修17件、簡易改修3件)</p> <p>・一部工事(草内美泥排水路)完了。一部設計業務(草内工業地域排水困難地対策)完了。</p>	B	<p>・修繕工事については、7月末に完了。</p> <p>・今後も広報活動や市民フォーラム、産業祭等でのPR活動により事業を推進する。</p> <p>—</p>

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成26年度 建設部  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	2.地域に根ざした安全・安心事業の推進	・地元要望や通学路確保のための整備を推進し、安全対策の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の整備改善及び維持修繕(学校、福祉施設等)</li> <li>・市営住宅耐震化事業</li> <li>・通学路安全対策事業(カラー塗装)</li> <li>・公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、福祉施設の整備改善等工事及び次年度工事の設計業務を計画通り実施した。</li> <li>・西羅団地耐震工事及び次年度工事の南山団地耐震工事の設計業務を計画通り実施した。</li> <li>・通学路安全対策事業(カラー塗装)については、年度内において平成26年度施工予定箇所の実施を完了した。</li> <li>・公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の更新については、平成26年度京田辺市公園遊具等更新工事を実施し、完了した。</li> </ul>	A	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成26年度 建設部  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	3.国・府等の事業支援と関連する事業の推進	・国・府等が進める広域的な社会資本整備事業に支援協力し持続可能なまちづくりを推進する。	・新名神高速道路及び関連事業 ・山手幹線南進事業支援 ・府道拡幅・交差点改良事業支援(八幡木津線、三山木普賢寺線) ・府河川改修事業支援(防賀川・松井地区、興戸地区) ・大住工専拡大事業の支援	・新名神高速道路建設及び側道整備に係る地元区との協議・調整を随時行った。 ・山手幹線南進事業に係る地元区との設計協議及び工事用道路の設計を完了した。 ・八幡木津線の茶屋前交差点改良に係る市道拡幅部の用地測量を実施した。 ・組合設立に向けた支援、事業に必要な関係機関協議を実施した。	B	—  —  ・八幡木津線の茶屋前交差点改良に係る補償協議を府と共に推進する。  ・京都府、ネクスコ及び市内関係部署等との協議及び役員会等への参加
	4.都市基盤整備の促進	・効率的かつ適切な予算執行に努め、誰もが便利で快適に暮らせる良好な都市環境を形成するため、都市基盤整備を進める。	・三山木地区特定土地区画整理事業の推進  ・防賀川公園(東側)整備事業 ・三山木2号公園整備事業	・難航していた2件の物件移転契約を締結した。これにより、全て(157件)の物件について移転契約を行うことができた。  ・造成工事完了。  ・地元区協議完了、修正設計業務完了。	B	・難航していた物件移転補償契約を締結することができたことから、道路築造及び宅地整地工事を実施する。  ・H27年度に公園施設整備工事を実施予定。 ・同上

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】

平成26年度 建設部  
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	5.新規事業の拡充促進	・市民の多様化するニーズや将来の高齢化に対応した事業を促進し、生活環境の向上を図る。	・水辺の散策路環境整備事業 ・バス交通活性化プロジェクト事業 ・松井山手～大住地域遊歩道検討事業 ・バリアフリー生活関連経路整備事業	・手原川左岸道路（薪地区）の整備工事完了、2/26完成披露式典実施。  ・業務委託実施中（H27年5月完了予定）  ・業務委託完了 地権者説明・JR協議・財源確保のための協議終了  ・一部区間（新田辺東駅前線他1線）整備工事完了。	B	－  ・新しい路線とその利用促進について検討  －  －
	6.組織コミュニケーション活性化及び職員のスキル向上	・組織の停滞を防止し、適切な業務遂行と社会ニーズに的確に対応する職員を育成する。	・研修やフォーラム等への積極的参加	・技術職員を対象として入札制度改革について研修会を開催した。	B	・H27年度において、外部の技術研修会等へ積極的に参加する。

※【目標の達成度の区分:A. 達成できた、B. 概ね達成できた、C. 達成できなかった】